

# 聖籠町基金運用の状況

令和8年4月

聖籠町総合政策課

## 1 経済・金融動向

内閣府が発表している直近の月例経済報告では、我が国経済の基調判断として「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意する必要がある。」と報告している。

長期金利（新発10年物国債利回り）は令和5年度以降徐々に上昇し、令和8年3月末では2.3%台となっている。

図1 平成元年1月以降の金利状況



出典：『国債金利情報（財務省 HP 掲載）』を基に聖籠町作成

## 2 本町の財政状況

令和8年度においては、歳入では、賃金上昇の影響等により個人町民税の増収が見込まれるものの、償却資産の経年減価による固定資産税の減収により、町税は対前年比で減収を見込んでいる。

一方で歳出では、物価高騰や人件費の上昇、子ども子育てなどの社会保障費の増加、老朽化する公共施設の機能維持にかかる経費など、行政経営に関する経費が増大しているため、限られた財源を効率的かつ効果的に活用していくことが求められている。

## 3 基金残高

一般会計における基金残高は、令和7年度末（令和8年3月31日）現在、約17億1900万円となっている。

表2 一般会計基金の残高推移 (単位:円)

基金名称	令和7年度末	令和6年度末
財政調整基金	506,980,917	498,807,473
減債基金	85,409,635	85,207,513
土地開発基金	64,628,914	64,492,732
教育振興基金	3,233,480	3,219,988
地域福祉基金	37,012,134	36,932,830
町営住宅及び共同施設維持基金	301,520,192	299,001,595
災害救助基金	127,227,835	126,942,056
道路整備基金	5,980,380	4,969,193
公共用施設整備基金	37,341,957	36,260,325
公共用施設維持基金	2,659,726	12,631,290
観音の湯さぶ〜ん館維持基金	20,792,906	18,750,693
ふるさと応援基金	410,870,583	374,698,038
国営加治川用水地区土地改良事業基金	67,309,754	173,931,189
感染症対策基金	1,499,480	1,496,112
企業立地促進基金	41,746,298	6,117,526
スポーツ振興基金	3,417,451	3,310,000
国民健康保険高額医療費貸付基金	2,000,000	2,000,000
合 計	1,719,631,642	1,748,768,553

#### 4 基金の管理・運用

- 基金は、基金別の状況等を把握した上で、一部一括運用する。
- 基金の性質により、運用を区分する。
  - 短期的な使途（具体的な取り崩しの予定）が決まっている基金→短期的な運用
  - 短期的な使途（具体的な取り崩しの予定）がない基金→長期的な運用
- 資金の流動性と安全性を重視した「短期的な運用<sup>1</sup>」と比較的高い利回りを確保できる「長期的な運用<sup>2</sup>」を組み合わせた資金配分を目指す。
- 聖籠町長期財政計画（令和3年度～令和12年度）による見通しなども視野に入れ、運用していく。

運用にあたっては、各基金の設置目的並びに積立及び取崩の計画等を考慮しながら、効率性、流動性の確保の観点から、令和3年度から開始した基金の一括運用を継続していく。

運用方法としては、基金の性質により、運用方法を区分し、資金の流動性と安全性を重視した「短期的な運用」と比較的高い利回りを確保できる「長期的な運用」を組み合わせた資金配分を目指す。

長期的な運用については、金融政策により足元の金利は上昇しているため、今後も金利動向に注意を払い、保有債券の安全性、収益性、効率性のバランスを考慮し、適正な債券運用に努めていく。

短期的な運用については、預金運用により進めていくことを基本とする。資金の流動性の確保を重視しつつ、相対的には高い利子収入額を確保できる1年程度の定期性預金などの運用に努めていく。

こうした資金配分については、聖籠町長期財政計画（令和3年度～令和12年度）による基金残高の見通しなども視野に入れて、必要な対応を図っていく。

当面の資金配分については、債券運用（30%）・預金運用（70%）を一つの目安とし、上記の運用による基金利子収入の見込は表3のとおりである。

表3 基金利子収入

（単位：千円）

	令和8年度見込	令和7年度実績	令和6年度実績
基金利子収入	4,906	5,113	2,109

※令和7年度は、定期性預金利率の上昇により増加した。

<sup>1</sup> 短期的運用：普通性預金、定期性預金など

<sup>2</sup> 長期的運用：聖籠町債券運用指針に基づく、国債、地方債、政府保証債、財投機関債、社債（ただし、一般担保付に限る。）など

## 5 基金運用実績

令和7年度の基金運用実績は、下表のとおりとなった。

表4 基金の運用実績

		令和7年度	令和6年度	対前年度増減	
全体	平均残高 <sup>3</sup>	1,749,482,994 円	1,869,259,214 円	△119,776,220 円	
	平均利回り <sup>4</sup>	0.292%	0.113%	0.179%	
	利子収入額	5,113,089 円	2,109,376 円	3,003,713 円	
内 訳	債 券 運 用	平均運用割合	22.9%	21.4%	1.5%
		平均利回り	0.520%	0.520%	0%
		利子収入額	2,080,000 円	2,080,000 円	0 円
	預 金 運 用	平均運用割合	77.1%	78.6%	△1.5%
		平均利回り	0.225%	0.002%	0.223%
		利子収入額	3,033,089 円	29,376 円	3,003,713 円

(参考)

	利子収入額	平均利回り	平均残高
令和7年度	5,113,089 円	0.292%	1,749,482,994 円
令和6年度	2,109,376 円	0.113%	1,869,259,214 円
令和5年度	2,559,418 円	0.131%	1,947,703,008 円
令和4年度	2,024,902 円	0.117%	1,723,351,048 円
令和3年度	236,051 円	0.016%	1,439,148,480 円
令和2年度	190,000 円	0.015%	1,287,435,078 円
令和元年度	175,423 円	0.015%	1,191,753,582 円

<sup>3</sup> 平均残高:4月1日から3月31日までの残高合計を 365 日で除したもの。

<sup>4</sup> 平均利回り:運用益(利子収入)÷運用額×100

## 6 保有債券の状況

令和8年3月31日現在、市場金利の上昇により評価損が出ているが、満期まで持ち切れば、将来の金利変動に関わらず債券の満期日までの運用収益が確定しているため、損をすることはない。

No.	銘柄名	クーポン (%)	償還日	額面 (千円)	購入単価 (円)	購入日
1	第547回 東北電力社債	0.500	2029/6/25 (R11)	100,000	100.000	2022/6/15 (R4)
2	第531回 東北電力社債	0.310	2031/5/23 (R13)	100,000	100.000	2021/5/26(R3)
3	第541回 東北電力社債	0.350	2032/1/23 (R14)	100,000	100.000	2022/1/20(R3)
4	第448回 中国電力社債	0.920	2033/5/25 (R15)	100,000	97.820	2023/12/6(R5)
合計（額面・購入単価） 平均（クーポン）		0.520		400,000	99.455	

No.	銘柄名	時価単価 (円)	残存年数 (年)	購入時の 年限	年間利息額 (円)	評価損額 (円)
1	第547回 東北電力社債	95.6810	3.2	7.0	500,000	- 4,319,000
2	第531回 東北電力社債	90.6656	5.1	10.0	310,000	- 9,334,400
3	第541回 東北電力社債	89.1138	5.8	10.0	350,000	- 10,886,200
4	第448回 中国電力社債	89.2581	7.1	9.5	920,000	- 8,561,900
合計（年間利息額・評価損額） 平均（その他）		91.1796	5.3	9.1	2,080,000	- 33,101,500